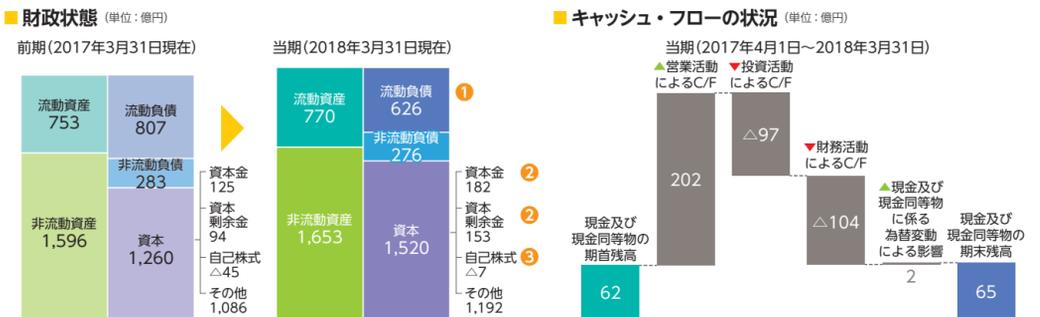
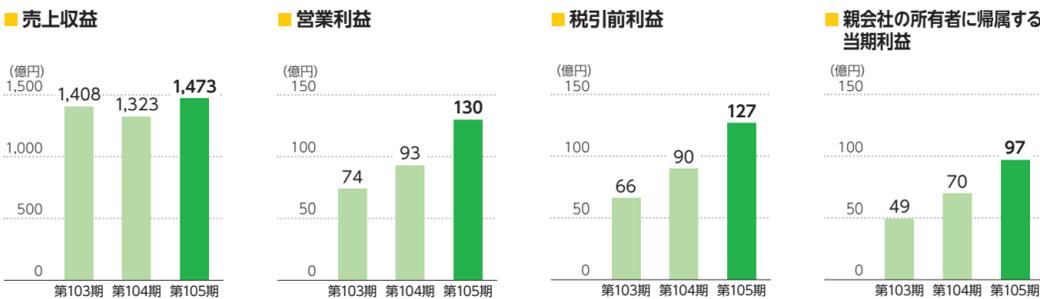


科目	第103期 (2015年度)	第104期 (2016年度)	第105期 (2017年度)
売上収益	(億円) 1,408	1,323	1,473
営業利益	(億円) 74	93	130
税引前利益	(億円) 66	90	127
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円) 49	70	97
基本的1株当たり当期利益	(円) 284.05	407.38	507.48
資産合計	(億円) 2,398	2,349	2,423
資本合計	(億円) 1,194	1,260	1,520
親会社の所有者に帰属する持分	(億円) 1,182	1,243	1,502
親会社所有者帰属持分比率	(%) 49.3	52.9	62.0
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 6,876.19	7,232.89	7,271.67



- ①流動負債: 転換社債の株式転換が完了したことにより減少しました。
- ②資本金・資本剰余金: 転換社債の株式転換が完了したことにより増加しました。
- ③自己株式: 転換社債の株式転換に自己株式を充当したため減少しました。

※ 当社は、第104期より国際会計基準(IFRS)を適用しています。比較対象となる第103期(2015年度)の数値につきましても国際会計基準に準拠して表示しております。  
※ 億円単位の金額は、端数を四捨五入して表示しております。

### 第105期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。  
2018年4月17日開催の当社取締役会において、第105期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の期末配当は、1株当たり70円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金(円)

	104期	105期
中間	*55	55
期末	55	70
年間	110	125

※2016年10月1日付で行った普通株式10株を1株とする株式併合の割合に応じて換算しています。

### 会社の概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ  
 英文社名 KUREHA CORPORATION  
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 設立 1944年6月21日  
 資本金 18,169百万円  
 グループ従業員数 4,374名(単独:1,835名)  
 連結対象会社数 32社(連結子会社29社、持分法適用会社3社)  
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

### 役員 (2018年6月26日現在)

代表取締役社長 小林 豊  
 取締役常務執行役員 野田 義夫  
 取締役常務執行役員 佐藤 通浩  
 社外取締役 戸坂 修  
 社外取締役 尾越 忠夫  
 常勤社外監査役 山口 治紀  
 常勤監査役 吉田 徹  
 社外監査役 北村 大  
 専務執行役員 福沢 直樹  
 常務執行役員 西畑 直光  
 執行役員 田中 宏幸  
 執行役員 米澤 哲  
 執行役員 並川 昌弘  
 執行役員 陶山 浩二

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。  
<http://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html>  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1  
 みずほ信託銀行株式会社

### 株式の状況 (2018年3月31日現在)

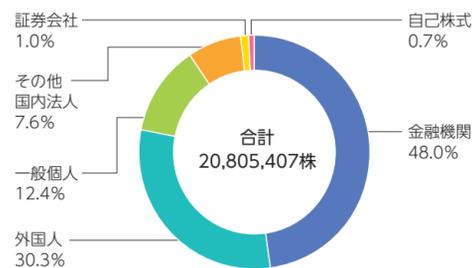
発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式総数 20,805,407株  
 株主数 11,236名

### 大株主の状況 (2018年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,188	10.6
明治安田生命保険相互会社	1,374	6.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	953	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	732	3.5
東京海上日動火災保険株式会社	650	3.1
JP MORGAN CHASE BANK 3851166	420	2.0
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	401	1.9
株式会社みずほ銀行	400	1.9
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 385576	388	1.9
GOVERNMENT OF NORWAY	374	1.8

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。  
 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

### 株式の所有者別構成比 (2018年3月31日現在)



### お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。  
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
 みずほ信託銀行 証券代行部  
 フリーダイヤル 0120-288-324  
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行<sup>(※)</sup>  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行<sup>(※)</sup>およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ  
 KUREHA CORPORATION

# KUREHA REPORT

## クレハレポート

第105期  
 期末報告書

2017年4月 1日  
 ≪  
 2018年3月31日

トップメッセージ >>>

発展に向けた土台づくりに邁進

株式会社クレハ  
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

## 発展に向けた土台づくりに邁進

### ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第105期期末（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

### 当期の概況について

当期のわが国経済は緩やかな景気拡大基調が継続しました。また、世界経済も米国、欧州およびアジア経済圏で比較的堅調に推移しました。

当社におきましては、機能製品事業の機能樹脂や炭素製品、化学製品事業の農薬、樹脂製品事業の「NEWクレラップ」などが堅調に推移したことから、売上収益は前期比11.4%増の1,473億29百万円、営業利益は同40.2%増の129億73百万円、税引前利益は同41.2%増の126億83百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同38.5%増の96億97百万円となりました。

期末配当金は、中間配当金に比べて1株当たり15円の増配となる1株当たり70円とさせていただきます。

### 中期経営計画

#### 「Kureha's Challenge 2018」の進捗状況

“将来のクレハの発展に向けた土台づくりの期間”として位置付けた中期経営計画「Kureha's Challenge 2018」（以下、中計）の2年目となった当期は、環境変化に対応した事業ポートフォリオの変革と企業文化の変革を推進し、中計で掲げた“製品差別化”と“新事業創出”の実現、ならびに2019年3月期定量目標（営業利益140億円）の達成に向けた確かな道筋をつけるべく、全社一丸となって取り組みました。

その結果、今後の成長の原動力となる機能製品事業においては、炭素製品分野での採算改善による黒字化、機能樹脂分野での売上拡大による営業利益の増加など、着実に収益基盤の強化が進みました。一方、シェールオイル・ガス掘削用途のPGA（ポリグリコール酸）樹脂および加工品（以下、PGA）は、期初に掲げた計画には及ばなかったものの、後半には米国子会社による販売が立ち上がるなど前期を上

回る売上げとなり、今後の事業拡大に向けたシナリオを描くことができました。また、農薬の収益拡大や「NEWクレラップ」の高い品質に見合った価格での販売継続など、既存事業においても品質とコストの差別化を徹底し、競争力・収益力の向上を図ることができました。

さらに、将来の当社の成長を担う新しい事業の創出を目指した開発活動は、当社が得意とする技術を生かしつつ、さまざまな企業・大学・団体とのコラボレーションによって深化し、一部のテーマについては次の開発ステージに進めることができました。

### 2019年3月期の業績予想と今後の取り組み

2019年3月期において、売上収益は前期比1.8%増の1,500億円、営業利益は同7.9%増の140億円、税引前利益は同10.4%増の140億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同8.3%増の105億円と、前期比で増収・増益を予想しています。営業利益の140億円は中計策定時における目標値と同額であり、定量面でのステークホルダーの皆様へのコミットメント（約束）を果たすことに強いこだわりを持って、この業績予想を確実に達成してまいります。

とりわけ、今後のコア事業となるPGA事業の収益基盤を確立することが最重要課題と捉え、米国での評価・拡販を進めてまいります。また、製造部門や間接部門での生産性向上を含め、経営基盤のさらなる強化を図るべく、“改革”と“革新”のアクションを重ねていくとともに、新事業創出における新たなコラボレーションなど、将来の発展に向けたさまざまな取組みを一段と加速・充実させてまいります。

当社は、これからも、「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。

### 機能製品事業 売上収益 416.4億円（前期比124.8%）



#### 機能樹脂分野

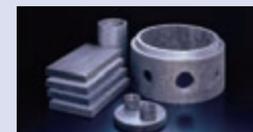
リチウムイオン二次電池用バインダー用途向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA（ポリグリコール酸）樹脂および加工品の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

#### 炭素製品分野

売上げが増加し、前期の営業損失から営業利益となりました。



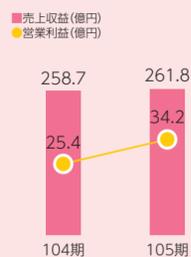
PGA加工品(分解性フラックブラク)



炭素繊維成形品(断熱材)



### 化学製品事業 売上収益 261.8億円（前期比101.2%）



#### 医薬・農薬分野

慢性腎不全用剤「クレメジン」等の医薬品の売上げは減少しましたが、農薬・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

#### 工業薬品分野

無機薬品類および有機薬品類の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



慢性腎不全用剤「クレメジン」



農薬・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」



### 樹脂製品事業 売上収益 454.0億円（前期比106.1%）



#### コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、フッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

#### 業務用食品包装材分野

熱収縮多層フィルム等の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



家庭用ラップ「NEWクレラップ」



熱収縮多層フィルム



### 建設関連事業とその他関連事業 売上収益 341.2億円（前期比112.7%）



#### 建設関連

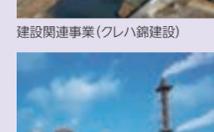
民間工事および公共工事で建築工事が増加し、売上げ、営業利益はともに増加しました。エンジニアリング事業では、営業利益は減少しました。

#### その他関連

環境事業では、産業廃棄物処理等の増加により、売上げ、営業利益はともに増加しました。運送事業では、売上げは減少しましたが、コスト削減により営業利益は増加しました。病院事業では、売上げは前期並みでしたが、営業損失は増加しました。



建設関連事業(クレハ鉤建設)



環境事業(クレハ環境)



# T O P I C S

### キッチンさん「ダストマン どこでもスタンド」

ポンッ!と広げて置くだけ、小さなゴミもしっかりキャッチ

「ダストマン どこでもスタンド」はキッチンのシンクにそのまま置いて使用する自立型水切りゴミ袋です。底部に抗菌・防臭効果のある成分を配合した不織布を使用しているため、雑菌の増殖や悪臭の発生を抑え、清潔で快適なキッチンライフをサポートします。

**新製品**

### 生産設備増強～いわき事業所

#### フッ化ビニリデン樹脂・PPS樹脂

環境規制の強化を背景に、需要の増加が見込まれる電気自動車やハイブリッド自動車。その動力源となるリチウムイオン二次電池のバインダーには当社のフッ化ビニリデン樹脂「KFポリマー」が、また、小型・軽量化を目的に各種部品にはPPS樹脂「フォートロンKPS」が使用されています。自動車産業を支えるこれらの樹脂は、海外にも生産拠点をもち、グローバルに展開を進めていますが、更なる需要拡大に対応するために、いわき事業所の生産設備を増強いたします。

●KFポリマー	●フォートロンKPS
増強規模 2,000トン/年	増強規模 5,000トン/年
投資額 47億円	投資額 100億円
稼働時期 2018年秋	稼働時期 2021年2月

いわき事業所 PPS樹脂プラント

2018年6月26日  
東京都中央区日本橋浜町3-3-2

**株式会社クレハ**  
代表取締役社長 小林 豊

## 第105回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月26日開催の第105回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項	決議事項
1. 第105期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件	<b>第1号議案 取締役5名選任の件</b> 本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、野田 義夫、佐藤 通浩、戸坂 修、尾越 忠夫の5名が再選、重任いたしました。
2. 第105期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）計算書類報告の件	<b>第2号議案 取締役に対する賞与支給の件</b> 本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、当期末の取締役3名（社外取締役を除く）に対し、総額37,000千円の役員賞与を支給します。